



DTModhold

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U)

平1-168685

⑬ Int. Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 平成1年(1989)11月28日

E 06 B 3/38

7806-2E

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全 頁)

⑮ 考案の名称 窓構造

⑯ 実 願 昭63-61639

⑰ 出 願 昭63(1988)5月12日

⑱ 考 案 者 高 吉 邦 治

東京都中央区京橋2丁目16番1号 清水建設株式会社内

⑲ 出 願 人 清 水 建 設 株 式 有 限 公 司

東京都中央区京橋2丁目16番1号

⑳ 代 理 人 弁 理 士 松 田 三 夫

外2名

明 細 書

1 考案の名称

窓構造

2 実用新案登録請求の範囲

壁等の取付体に取付部を中心として回転可能に窓を取付けてあり、この窓の見込み部分を窓の開く方向にかつ外側に向けて傾斜した傾斜面とし、この傾斜面に対応している上記取付体の開口部の面を上記傾斜面に沿う傾斜面としてあることを特徴とする窓構造。

3 考案の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本考案は、三角窓、ひし形窓などの窓構造に関する。

(従来の技術)

従来、第5、6図に示すような三角窓Wでは、窓枠W aが断面四角形であって、この窓枠の下面が外枠W bに接触する構造であった。

(考案が解決しようとする課題)

従来の窓構造によると、窓Wを例えば底辺を中

心として外倒しに開閉しようとしても、窓枠 W a の見込み部分（下面）が外枠 W b の上面によってその移動を妨げられるから、開閉ができない不都合があった。窓 W を開閉可能にするために外枠 W b 側に逃げを設ければよいが、これでは窓枠 W a との間に隙間が生じてしまう。

本考案の目的は、三角窓などのような形状の窓であっても、隙間をあけることなく外倒しに開閉可能とする窓構造を提供することにある。

（課題を解決するための手段）

本考案の特徴は、窓 1 が壁等の取付体 2 に取付部 4 を中心として回転可能に取付けてあり、この窓の見込み部分が窓の開く方向にかつ外側に向けて傾斜した傾斜面 1 1 a としてあり、この傾斜面に対応する上記取付体の開口部の面を上記傾斜面に沿う傾斜面 3 1 としていることにある。

（作用）

窓 1 は、傾斜面 1 1 a とこれに沿う取付体 2 側の傾斜面 3 1 の存在によりその開閉動作が妨げられない。

(実施例)

以下本考案の一実施例として三角窓に適用した場合を第 1 ～ 4 図を参照して説明する。

第 1 ～ 3 図において、三角形状の窓 1 は、その底辺を外壁 2 の開口部に設けてある外枠 3 にヒンジ 4 によって取付けてある。窓 1 の外周部には窓枠 1 1 を取付けて、窓の補強をしてある。窓枠 1 1 の断面形状は台形とし、見込み部分となる外周面を窓 1 が開く方向すなわちこの例では屋外側（第 1 図左側）にかつ外側に向けて傾斜した傾斜面 1 1 a としてある。外枠 3 の内面は、窓枠 1 1 の傾斜面 1 1 a に沿う傾斜面 3 1 としてある。

このために窓 1 は、ヒンジ 4 を中心として外壁 2 の開口部を外倒し（第 1 図鎖線図示）に開閉できる。

したがって三角窓 1 は、通常の窓と同様に機能できるから、例えば第 4 図に示すような切妻の屋根の建物 5 の機械室の排煙窓として利用でき、しかも窓の形状が建物の屋根に合ったものとなり、デザイン上望しいものである。

窓の形状は三角形に限定されず、ひし形、四角形、五角形などであってもよい。

(考案の効果)

以上説明したように本考案によれば、三角窓などのような形状の窓であっても、隙間をあけることなく開閉可能でき、このために例えば排煙窓として利用できるから機械排煙設備が不要となつて、簡単に換気ができ空調ランニングコストを低く抑えることができ、また様々な意匠の窓を提供できる。

4 図面の簡単な説明

第1図は中央縦断面図、

第2図は下部の横断面図、

第3図は窓の正面図、

第4図は使用状態を示す斜視図、

第5図は第6図IV—IV線断面図、

第6図は従来例の正面図である。

1 … 窓、

1 1 … 窓枠、 1 1 a … 傾斜面、

2 … 取付体（外壁）、

3…外枠、3 1…傾斜面、

4…取付部（ヒンジ）。

以 上

実用新案登録出願人 清水建設株式会社

代 理 人

弁理士 松田三夫



代 理 人

弁理士 松田和子

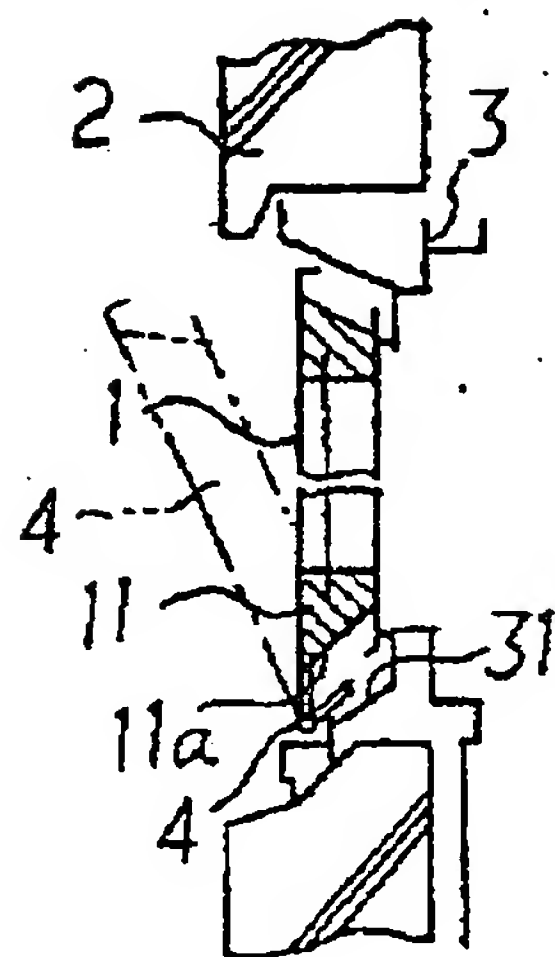


代 理 人

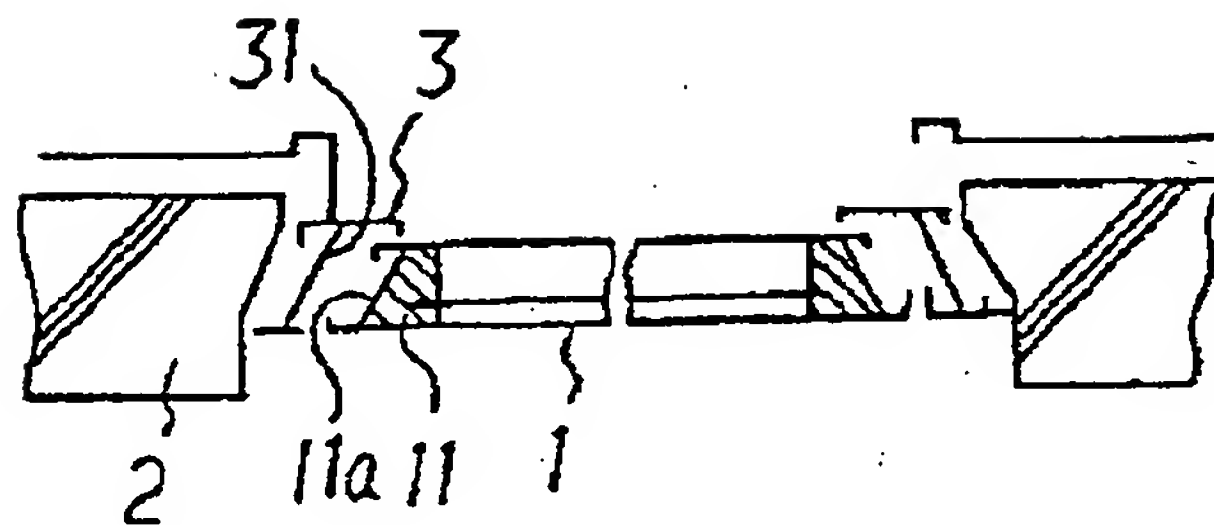
弁理士 小平 進



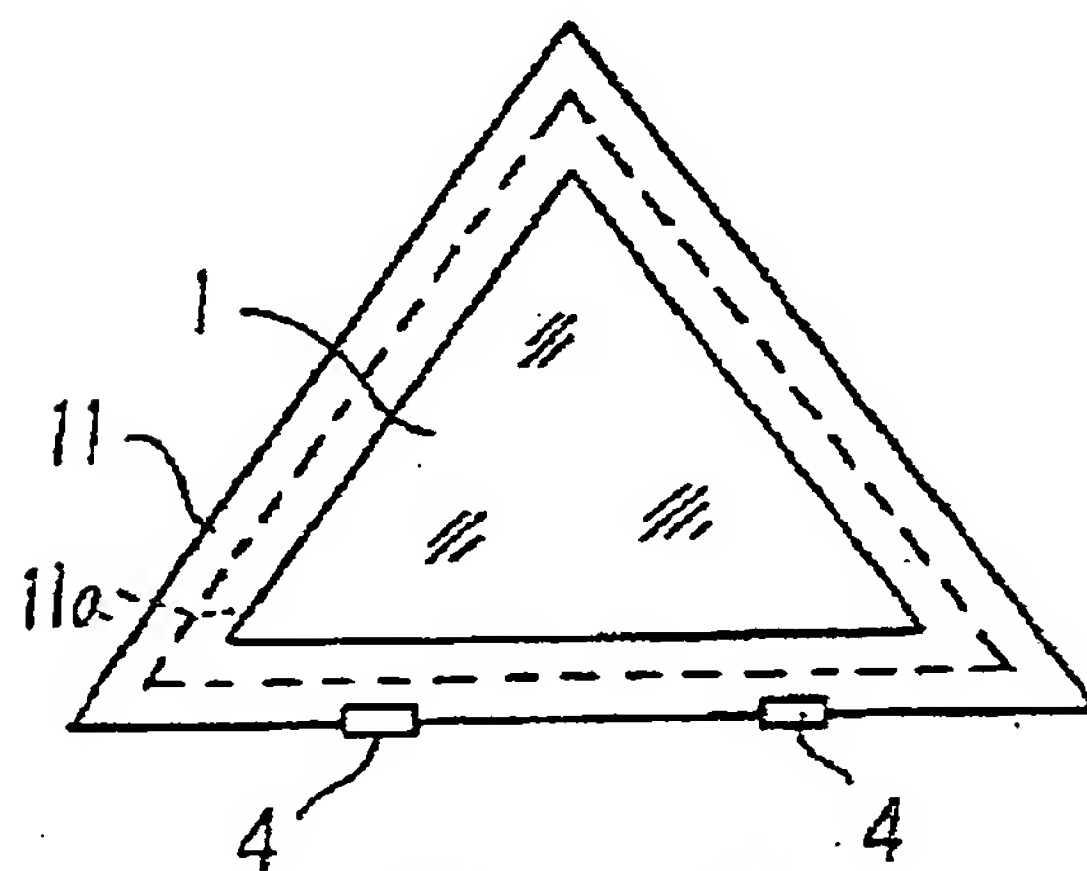
第 1 図



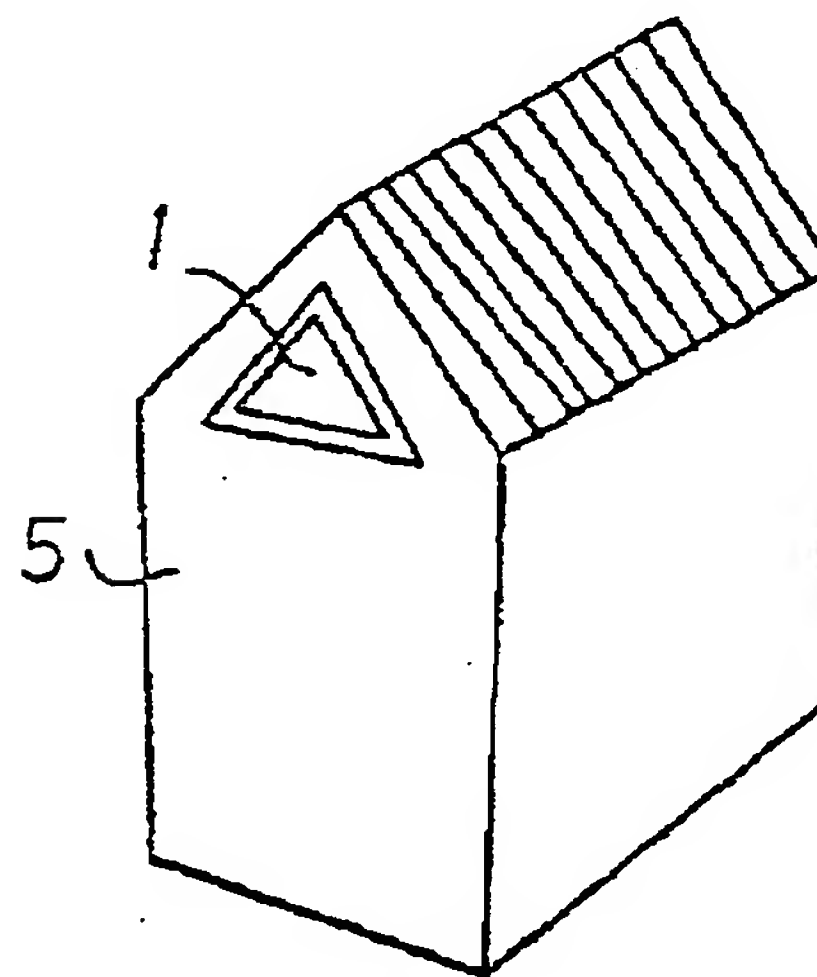
第 2 図



第 3 図

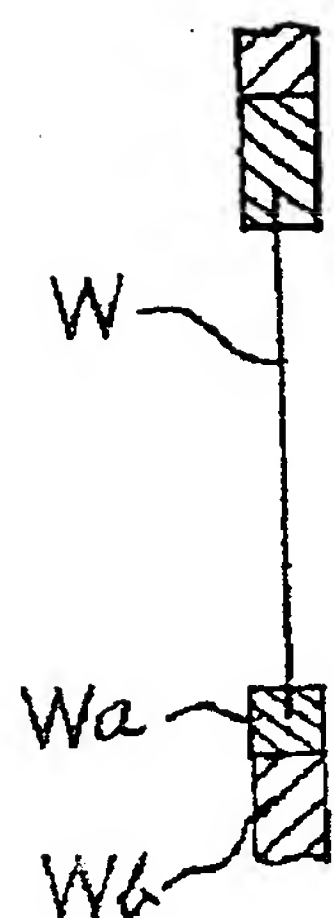


第 4 図

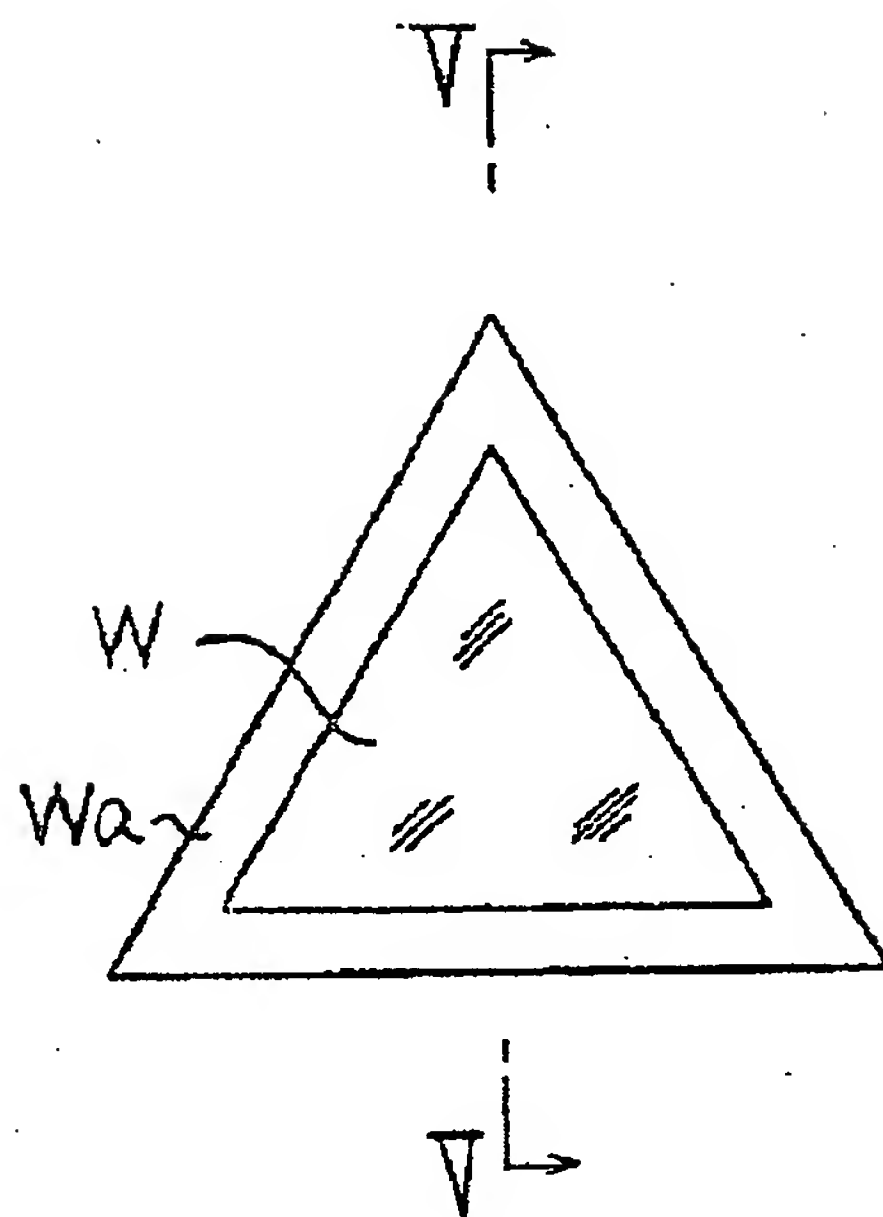


- 1 : 窓
 1 1 : 窓枠
 1 1 a : 傾斜面
 2 : 取付体 (外壁)
 3 : 外枠
 3 1 : 傾斜面
 4 : 取付部 (ヒンジ)

第 5 図



第 6 図



実用新案登録出願人 清水建設株式会社
代理人 弁理士 松田三夫



1093

実開1-168685